

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2008年11月13日 (13.11.2008)

PCT

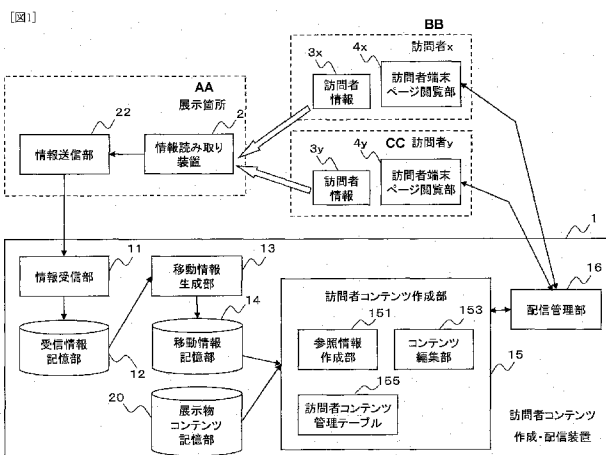
(10) 国際公開番号
WO 2008/136089 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 50/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2007/058805
- (22) 国際出願日: 2007年4月24日 (24.04.2007)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 富士通株式会社 (FUJITSU LIMITED) [JP/JP]; 〒2118588 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 Kanagawa (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 瀧山 秀司 (TAKIYAMA, Shushi) [JP/JP]; 〒2220033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目4番地19株式会社富士通ソフトウェアテクノロジーズ内 Kanagawa (JP).
- (74) 代理人: 渡部 章彦 (WATANABE, Akihiko); 〒1160013 東京都荒川区西日暮里5丁目11番8号 三共セントラルプラザビル5階 開明国際特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE,

[続葉有]

(54) Title: CONTENT CREATION AND DISTRIBUTION PROCESSING METHOD, PROCESSING DEVICE, PROCESSING SYSTEM, AND PROCESSING PROGRAM

(54) 発明の名称: コンテンツ作成・配信処理方法, 処理装置, 処理システム, および処理プログラム



- AA EXHIBITION PLACE
22 INFORMATION TRANSMISSION SECTION
2 INFORMATION READER
BB VISITOR x
3x VISITOR INFORMATION
4x VISITOR TERMINAL PAGE READING SECTION
CC VISITOR y
3y VISITOR INFORMATION
4y VISITOR TERMINAL PAGE READING SECTION
1 VISITOR CONTENT CREATION AND DISTRIBUTION DEVICE
11 INFORMATION RECEPTION SECTION
12 RECEIVED INFORMATION STORAGE SECTION
13 MOVEMENT INFORMATION GENERATION SECTION
14 MOVEMENT INFORMATION STORAGE SECTION
20 EXHIBIT CONTENT STORAGE SECTION
15 VISITOR CONTENT CREATION PART
151 REFERENCE INFORMATION CREATION SECTION
153 CONTENT EDITING SECTION
155 VISITOR CONTENT MANAGEMENT TABLE
16 DISTRIBUTION MANAGEMENT SECTION

(57) Abstract: This system collects visitor information read by the information reader arranged at each exhibition place and generates movement information showing stopped exhibition places for each visitor from the positions of the exhibition places and the visitor information. Then, the system specifies exhibit contents coordinated with the exhibition places of the movement information from the storage section storing the exhibit contents coordinated with exhibition places, creates the content only for the visitor including the specified exhibit contents, and distributes the visitor contents to the visitor and general Internet users.

(57) 要約: 本システムは、各展示箇所に配置された情報読み取り装置が読み取った訪問者情報を収集し、展示箇所の位置と訪問者情報から、訪問者ごとに、立ち寄った展示箇所を示す移動情報を生成する。そして、展示箇所に対応付けた展示物コンテンツを記憶する記憶部から、移動情報の展示箇所に対応付けられた展示物コンテンツを特定し、特定した展示物コンテンツを含む訪問者専用のコンテンツを作成し、訪問者、一般インターネットユーザへ訪問者コンテンツを配信する。



IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK,
TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW,
ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

明 細 書

コンテンツ作成・配信処理方法, 処理装置, 処理システム, および処理プログラム

技術分野

[0001] 本発明は、複数の展示物(風景, サービス, 商品を含む)が設置された特定の場所や区域内を訪問した者あるいはサービスに参加した者が当該場所内で立ち寄った展示箇所を記録した情報を用いて、前記展示物に関連する展示物コンテンツを含む前記訪問者専用のコンテンツを作成しインターネットで配信する技術に関する。

[0002] ここで、展示物は、鑑賞または観察用に展示される物品、もしくは訪問者が特定の場所(移動する場所でも良い)で体験した物事やサービスを表す物をいい、展示物コンテンツは、かかる展示物を表示するデジタルデータをいう。

背景技術

[0003] アミューズメントパーク、博物館、美術館、観光地などの特定の場所を訪問した場合に、その訪問記念として、購入したパンフレットやカタログ、撮影した写真などが保管されることがある。特に、写真撮影は、訪問記念を残す手軽な手段として普及している。

[0004] かかる記念撮影を支援するために、例えばテーマパークのアトラクション会場などにデジタルカメラを設置し、IDタグを携行した入場者が設置されたデジタルカメラで写真を撮影するたびに、大容量ストレージにIDタグ付けした写真映像を保存し、その後に、入場者の希望により、保存しておいた写真映像を入場者のパソコンにダウンロードさせる従来システムがある(特許文献1)。

特許文献1:特開2002-41703号公報

発明の開示

発明が解決しようとする課題

[0005] 前記のように、特定の場所や施設などのカタログ、パンフレットなどは、万人向けの記念品である。したがって、訪問者が実際に立ち寄った箇所を反映させることはできない。例えば、美術館を訪問した記念に購入されたカタログには、訪問者が実際に

観覧した美術品と観覧しなかった美術品とが区別して記載されていない。また、ほとんどのカタログは、掲載項目に訪問者自身の感想などを関連付けて保存するように構成されていない。

[0006] また、写真撮影などは、訪問者が実際に立ち寄った場所でなされるが、特定の場所や施設内では許可されない場合が多い。また、展示品そのものを撮影することも禁止されていることが多い。

[0007] したがって、訪問者各自の行動に則して、実際に立ち寄った箇所が分かり、かつ展示物の直接的な情報が得られるような記念品またはこれに類するものが求められていると考えられる。

[0008] 一方、アミューズメントパーク、博物館、美術館、観光地、ツアーサービスなどは、広告によって新規の訪問者を開拓するとともに、過去の訪問者に再訪を促すことによって、全体の訪問者数を増加させようと努めている。例えば、友の会などの組織による差別化を図り、料金の割引、特別品の頒布など特別サービスを提供して再訪を促している。したがって、新鮮でユニークなサービスの提供が必要である。

[0009] 本発明の目的は、アミューズメントパーク、博物館、美術館、観光地、ツアーサービスなどの特定な場所やサービスを訪問した者へ再訪を促す意図で、訪問体験の楽しさを振り返り、かつ、訪問体験の意義が高められるような手段を提供するために、訪問者が立ち寄った箇所あるいは参加したサービスにもとづいて構成された展示コンテンツを含む、前記訪問者専用のコンテンツ(訪問者コンテンツ)を作成し、前記訪問者の閲覧要求によって配信できる処理を、コンピュータを用いて実現することである。

課題を解決するための手段

[0010] 本発明は、所定の場所内で各展示箇所に対応付けた展示物を示す展示物コンテンツを記憶する展示物コンテンツ記憶部を備えるコンピュータが実行する処理方法であって、以下の処理ステップを実行するものである。

[0011] 本発明を実現するコンピュータは、展示箇所ごとに配置され、当該展示箇所に立ち寄った訪問者を識別する訪問者情報を読み取る情報読み取り装置から、前記展示箇所および読み取った前記訪問者情報を収集する。そして、収集された展示箇所および訪問者情報をもとに、訪問者ごとに、立ち寄った展示箇所を示す移動情報を生

成する。

- [0012] そして、展示物コンテンツ記憶部から、移動情報の展示箇所に対応付けられた展示物コンテンツを特定し、特定した展示物コンテンツが要素として構成される訪問者のための訪問者コンテンツを作成する。その後、訪問者または一般のインターネットユーザなどの閲覧要求を行った端末へ、訪問者コンテンツを配信する。
- [0013] これにより、複数の展示箇所それぞれで展示された展示物を示す展示物コンテンツを利用して、実際に展示箇所へ立ち寄ったという訪問者の行動にもとづいて選択された展示物コンテンツで構成される訪問者専用のコンテンツを作成することができる。また、訪問者コンテンツを、閲覧要求に応じてダウンロードさせることができる。
- [0014] よって、本発明は、訪問者に、自分が立ち寄った展示物の画像、説明情報などの展示物コンテンツが表示された訪問者コンテンツ(Webページ)を提供し、訪問者に、訪問体験をはっきりと思い出させることができる。
- [0015] また、訪問者コンテンツとして、訪問者が立ち寄って見学した展示物の関連情報や詳細な説明などを提供することができるため、訪問者へ、展示物への興味を引き起こさせ再訪を促すことができる。
- [0016] また、別の方法として訪問者が立ち寄っていない展示物の関連情報や詳細な説明などを訪問者コンテンツとして、提供することができるため、訪問者へ、未見学の展示物への興味を引き起こさせ再訪を促すことができる。
- [0017] また、本発明は、訪問者の入力データを用いて、訪問者コンテンツを編集するコンテンツ編集処理ステップを備え、コンテンツ作成処理ステップにおいて、訪問者が任意に編集できる要素を含む訪問者コンテンツを作成した場合に、コンテンツ編集部は、訪問者コンテンツの当該訪問者が任意に編集できる要素を入力データにもとづいて編集する。
- [0018] これにより、訪問者が自分の印象や情報を訪問者コンテンツに追加できる、訪問者ごとにカスタマイズされたユニークな記録手段の一つを提供することができ、訪問地やサービスへの興味をつないで再訪を促すことができる。
- [0019] また、本発明のコンテンツ作成処理ステップにおいて、訪問者コンテンツを構成する展示物コンテンツと同一または所定の分類において同分類とされる展示物コンテン

ツを要素として含む他の訪問者コンテンツがある場合に、その他の訪問者コンテンツへの参照情報を訪問者コンテンツに付加することができる。

[0020] これにより、訪問者に、同一の展示箇所やサービスへ立ち寄った他者と繋がる機会を提供し、インターネット上での同好者同士のグループやコミュニティ結成を促し、訪問体験の共有化を促すことができる。

[0021] また、本発明のコンテンツ配信処理ステップにおいて、訪問者コンテンツの閲覧可否の判定条件を設定し、閲覧要求の可否の判定結果にもとづいて前記訪問者コンテンツを配信することができる。

[0022] これにより、訪問者コンテンツを閲覧させる範囲を設定することができ、非公開として自分専用の日記や記録として利用したり、特定のメンバにだけ公開またはインターネットの一般ユーザに向けて公開し、情報発信の場として利用したりすることができる。

発明の効果

[0023] 本発明によれば、アミューズメントパーク、博物館、美術館、観光地、サービスなど特定の場所を訪問した者に対し、実際に立ち寄った展示箇所やサービスに応じて異なる展示物コンテンツで構成された訪問者向けのコンテンツ(訪問者コンテンツ)を提供することができる。

[0024] この訪問者コンテンツは、訪問者が、訪問体験を思い出したり、訪問の意義を深めたりして、訪問場所へ新たな興味を引き起こさせる一助となり、再訪を促すという効果が期待できる。

[0025] また、本発明によれば、自分の実際の訪問体験にもとづくコンテンツ(Webページ)の公開の範囲を任意に設定することができる。よって、訪問者コンテンツを個人的な記録、または情報発信の場として利用することができる。

[0026] 特に、同様の体験をした他人と体験談や関連する情報を交換し合うことによって、自分の体験に対する理解や感動が深まることは経験則として知られている。本発明によれば、同じ場所を訪問した者同士が、自己の体験にもとづく様々なコンテンツを通じて簡単に参照し合う仕組みを提供することができ、インターネット上の同好者コミュニティの構築を支援することができる。

[0027] さらに、内容を簡単に編集して独自のコンテンツを作成、所有することができるため

、内容に応じた参照数や閲覧数によって、訪問者に、コンテンツ作成、所有への満足感や優越感を与えることができる。さらに、良いコンテンツを作成するための再訪を促すことができる。

[0028] このように、本発明は、特定の場所やサービスの訪問に対する報酬として、運営者が所有する展示物コンテンツを含む訪問者コンテンツを提供する代わりに、繰り返し訪問するリピータを育成し、訪問者数を増加させるという効果を得ることができる。

[0029] さらに、リピータによる内容の濃い訪問者コンテンツは、インターネットで公開されて訪問者自身の個性を持った広告として機能するため、内容に信頼感があり未訪問者に対する大きな宣伝効果を発揮することができる。

図面の簡単な説明

[0030] [図1]本発明の最良の形態における構成例を示す図である。

[図2]訪問者情報の収集処理の流れを示す図である。

[図3]移動情報を生成する処理の流れを示す図である。

[図4]移動情報の構成例を示す図である。

[図5]訪問者コンテンツを作成する処理の流れを示す図である。

[図6]訪問者コンテンツ管理テーブルの構成例を示す図である。

[図7]展示物コンテンツ記憶部の構成例を示す図である。

[図8]移動情報をもとに訪問者コンテンツの展示物コンテンツの表示を変える場合の例を示す図である。

[図9]訪問者によるページ編集の処理の流れを示す図である。

[図10]訪問者の個人属性情報管理テーブルの例を示す図である。

[図11]位置情報による検索結果の例を示す図である。

[図12]位置情報が一致した訪問者コンテンツの関係を説明するための図である。

[図13]リンク情報テーブルの登録例を示す図である。

[図14]「ジャンル」と「作者」の分類情報による管理例を示す図である。

[図15]ページ間のリンク作成の例を示す図である。

[図16]訪問者コンテンツ閲覧要求時の処理の流れを示す図である。

[図17]訪問者xの公開ブログページの表示例を示す図である。

[図18]一般向けの公開ページ(ポータルページ)から訪問者コンテンツへのリンク例を示す図である。

[図19]展示物の鑑賞の有無の集計例を示す図である。

符号の説明

- [0031] 1 訪問者コンテンツ作成・配信装置
- 11 情報受信部
 - 12 受信情報記憶部
 - 13 移動情報生成部
 - 14 移動情報記憶部
 - 15 訪問者コンテンツ作成部
 - 151 参照情報作成部
 - 153 コンテンツ編集部
 - 155 訪問者コンテンツ管理テーブル
 - 16 配信管理部
 - 20 展示物コンテンツ記憶部
 - 2 情報読み取り装置
 - 22 情報送信部
 - 3x, 3y 訪問者情報
 - 4x, 4y 訪問者端末ページ閲覧部

発明を実施するための最良の形態

[0032] 図1は、本発明の最良の形態における構成例を示す図である。

[0033] 本発明にかかるコンテンツ作成・配信システムは、訪問者コンテンツ作成・配信装置1と、訪問者が立ち寄る場所の各展示箇所には備えられる情報読み取り装置2とで構成されている。

[0034] 本システムを利用する場所へ入場する訪問者x, yは、入場時に、訪問者各自を識別する訪問者情報3x, 3yが記録された携行装置を保持する。携行装置は、バーコード付きIDカード(サービス券／入場券)、RFID(無線タグ)、または固有IDの記録媒体などで実施される。本システムを利用する場所が、提携する複数の展示施設に

またがる場合には、訪問者情報3として、共通利用できる一つの識別ID(サービス券)、または施設ごとの識別IDが発行されるようにしてもよい。また、訪問者が複数人のグループの場合は、グループ単位で訪問者情報3を発行してもよい。

[0035] 情報読み取り装置2は、展示箇所ごとに配置され、この展示箇所に立ち寄った訪問者x, yの訪問者情報3x, 3yを読み取り、読み取った日付、時刻を記録する。展示箇所の範囲は、展示域、展示物ごとなど、任意に設定することができる。

[0036] 情報読み取り装置2は、訪問者情報3が記録された媒体に応じた読み取り機能を備える。例えば、情報読み取り装置2は、訪問者情報3がバーコード付きIDカードに記録されていれば、バーコード読み取り機能を備える処理手段として実施される。また、RFIDタグに記録されていれば、RFID読み取り機能を備える処理手段として実施される。

[0037] 情報読み取り装置2と情報送信部22との間で通信ができない環境では、別の方法として、出場するまでに訪問者の携行装置として構成される情報読み取り装置2に、展示箇所の位置情報と読み取った日付、時刻を記録していく。そして出場するときに情報送信部22でこれらの情報をまとめて読み取っても良い。

[0038] 情報送信部22は、各展示箇所の情報読み取り装置2で読み取られた訪問者情報3を収集し、訪問者情報3が読み取られた情報読み取り装置2が配置された展示箇所を示す位置情報、読み取られた日付・時刻などの情報を、訪問者コンテンツ作成・配信装置1へ送信する。

[0039] 訪問者コンテンツ作成・配信装置1は、CPUおよびメモリを備え、コンピュータプログラムとして実施される、情報受信部11、受信情報記憶部12、移動情報生成部13、移動情報記憶部14、訪問者コンテンツ作成部15、配信管理部16、展示物コンテンツ記憶部20を備える。

[0040] 展示物コンテンツ記憶部20は、所定の場所内で各展示箇所に対応付けた展示物を示す展示物コンテンツを記憶する手段である。

[0041] 展示物コンテンツは、展示箇所に展示される物品または展示箇所で訪問者が体験することを可視化したものとするデジタル情報である。具体的には、イメージデータ、説明文、コンテンツデータへの参照情報(URL, URI)などである。展示物コンテンツ

には、使用可能な有効期間が設定されていてもよい。

- [0042] また、展示物コンテンツは、訪問者が展示箇所を訪れた時に作成された情報、例えば、静止画、映像、音声、テキストなどの情報でもよい。この場合に、展示物コンテンツに、対応付けられた展示箇所を示す位置情報以外に、作成時間、訪問者情報が記録される。
- [0043] 情報受信部11は、訪問者 x , y の訪問者情報 $3x$, $3y$, 読み取られた位置情報、日付、時刻などの情報を受信し、受信情報記憶部12に格納する。
- [0044] 移動情報生成部13は、受信情報記憶部12に蓄積された情報から、訪問者 x , y ごとに、立ち寄った展示箇所を時系列的に示す移動情報を生成し、移動情報記憶部14に格納する。
- [0045] 訪問者コンテンツ作成部15は、訪問者 x , y ごとに、その移動情報に記録されている展示箇所を検索キーに展示物コンテンツ記憶部20を検索し、該当する展示物コンテンツを特定し、所定のテンプレートを用いて、特定した展示物コンテンツを要素として構成した訪問者それぞれに専用の訪問者コンテンツ(Webページ、Webブログなど)を作成する。作成された訪問者コンテンツは、訪問者コンテンツ管理テーブル155に登録されて管理される。
- [0046] また、訪問者コンテンツ作成部15は、訪問者がデータを任意に入力できる入力領域を要素として含む訪問者コンテンツを作成する。訪問者コンテンツ内の展示物コンテンツは、例えば、訪問者が立ち寄った経路、展示物のジャンルなどに応じて並べられる。
- [0047] また、訪問者コンテンツ作成部15は、移動情報にもとづいて特定された展示物コンテンツに、対応する展示箇所が「立ち寄り済み」であることを示す表示を設定する。また、展示物コンテンツ記憶部20から、移動情報に含まれない展示箇所に対応する展示物コンテンツを抽出した場合に、これらの展示物コンテンツに「未立ち寄り」であることを示す表示態様を設定する。
- [0048] また、訪問者コンテンツ作成部15は、予め、各展示箇所の位置関係を示す情報を保持しておき、この展示箇所の位置関係と移動情報の訪問者情報が読み取られた時刻とをもとに、訪問者の各展示箇所での滞留時間を算出し、展示物コンテンツを滞

留時間に応じて並べ、または異なる表示態様で表示するように設定する。

- [0049] また、訪問者コンテンツ作成部15は、展示物コンテンツを移動情報の日付、時刻に応じた表示態様で表示するように設定する。
- [0050] これにより、展示箇所の立ち寄り順序、滞留時間などによって、解説文の長さやグラフィックの大きさを変えたり、立ち寄った季節に応じてイメージやデザインを変えたりして、バリエーションのある訪問者コンテンツを作成することができる。
- [0051] また、訪問者情報の登録時に、訪問者の個人属性を取得している場合には、訪問者の性別や年齢によって解説文や文字の大きさを変えるなど、訪問者の個人属性を反映させた訪問者コンテンツを作成してもよい。
- [0052] さらに、訪問者コンテンツ作成部15は、参照情報作成部151と、コンテンツ編集部153とを備える。
- [0053] 参照情報作成部151は、訪問者コンテンツを構成する展示物コンテンツと同一、または所定の分類において同分類であるものを含む他の訪問者の訪問者コンテンツが作成されていた場合に、その他の訪問者の訪問者コンテンツへの参照情報を訪問者コンテンツに付加する。また、該当する他の訪問者コンテンツにも、訪問者コンテンツへの参照情報を付加する。また、訪問者コンテンツの展示物コンテンツに関連する一般のWebサイトへの参照情報を訪問者コンテンツに付加する。
- [0054] コンテンツ編集部153は、訪問者コンテンツの任意にデータ入力できる領域にデータが入力された場合、または、所定の範囲内で訪問者コンテンツの要素や内容が変更された場合に、入力されたデータまたは変更指示にもとづいて訪問者コンテンツを編集する。
- [0055] また、編集可能な操作の制限を設定する。例えば、移動情報を参照し、訪問者yの訪問者コンテンツにおいて、訪問者xは、自分が立ち寄った展示物コンテンツに対する操作は許可されるが、立ち寄っていない展示物コンテンツに対する操作は許可されないように、操作の制限を設定する。操作とは、コメントをつける、トラックバック(相互参照情報)を依頼する、URLを保存するなどである。
- [0056] 配信管理部16は、訪問者コンテンツの閲覧可否の判定条件を設定しておき、閲覧要求の可否の判定結果にもとづいて訪問者コンテンツを配信する。

- [0057] 閲覧可否の判定条件は、例えば、訪問者の指示入力によって、「訪問者コンテンツを非公開」、「指定されたメンバにだけ公開」、「一般に公開」などが設定される。
- [0058] 不特定多数者の閲覧を許可する「一般に公開」の場合、展示場所の運営団体ポータルサイトなど関連するポータルサイトに、訪問者コンテンツへの参照情報が作成されることによって、一般公開の状態となる。
- [0059] また、配信管理部16は、訪問者コンテンツの所有者とみなす訪問者に、自己の訪問者コンテンツをダウンロードさせてもよい。これにより、訪問者は、自分のコンテンツを自己のストレージに保存することができる。
- [0060] なお、配信管理部16は、訪問者コンテンツを、更新日付、アクセス数などで順位付けして管理し、関連するポータルサイトでの参照情報の表示順位を変更したり、参照情報を削除して、あまりアクセスされていない不人気な訪問者コンテンツを排除することができる。
- [0061] 訪問者端末ページ閲覧部4x、4yは、訪問者x、yそれぞれが管理するコンピュータに備えられるWebページ閲覧装置である。訪問者x、yは、それぞれの訪問者情報3x、3y、または所定の個人識別情報を使用して、専用ページから自分用に生成された訪問者コンテンツを閲覧することができる。
- [0062] 図2～図5を用いて本発明の処理の流れを説明する。ここでは、美術品の展示館の訪問客(訪問者x)に本システムによるサービスを提供する場合を例に説明する。
- [0063] 図2は、訪問者情報の収集処理の流れを示す図である。
- [0064] 訪問者xが、本システムで提供されるサービスを申請すると(ステップS1)、展示館の入口に設置された利用申請処理部(図1に図示しない)によって、サービス申請受付処理が行われる(ステップS10)。サービス申請受付処理では、訪問者xの有効な訪問者情報を確認する。なお、訪問者の住所、氏名、メールアドレス、個人属性なども入力されてもよい。
- [0065] 訪問者xが有効な訪問者情報(ID)が発行されていない場合は(ステップS11のYES)、一意に識別できる訪問者情報3xを生成し(ステップS12)、訪問者情報3xを記録した携帯可能な媒体(IDカード)を発行する(ステップS13)。
- [0066] 訪問者xは、訪問者情報3xが記録されたIDカードを受け取り(ステップS2)、展示

館へ入場し(ステップS3), 展示館内の展示箇所へ入場する(ステップS4)。展示箇所に配置された情報読み取り装置2aは, 訪問者xのIDカードから, 訪問者情報3xを読み取り, 読み取った日付, 時刻とともに記録する(ステップS5)。

[0067] 訪問者xがこの展示館を退館しなければ(ステップS6のNO), 別の展示箇所へ移動し(ステップS4), その展示箇所の情報読み取り装置2bは, 訪問者xのIDカードから, 訪問者情報3xを読み取る(ステップS5)。この処理を, 展示館を退館するまで繰り返し, 退館したら(ステップS6のYES), 終了する。

[0068] 図3は, 移動情報を生成する処理の流れを示す図である。

[0069] 展示館に備えられた情報送信部22は, 展示館の各展示箇所に設置された情報読み取り装置2から, 読み取った日付・時刻, 読み取った訪問者情報3xを, 情報読み取り装置2が設置された展示箇所を示す位置情報とともに収集し, 訪問者コンテンツ作成・配信装置1へ送信する。すると, 訪問者コンテンツ作成・配信装置1の情報受信部11は, これらの情報を受信し, 受信情報記憶部12へ格納する(ステップS20)。

[0070] なお, 情報読み取り装置が情報送信部22と直接通信する手段を持たないときは退館するまでの間, IDカードに一時的に全ての情報を保存し, 退館時に情報送信部22がIDカードからまとめて読み取っても良い。

[0071] 移動情報生成部13は, 受信情報記憶部12に格納された受信情報をもとに, 各訪問者の移動情報を生成し, 移動情報記憶部14に格納する(ステップS21)。

[0072] 図4に, 移動情報の構成例を示す。図4の左側に, 情報受信部11で受信された受信情報を示す。図4の右側に, 生成された移動情報を示す。受信された情報の各レコードは, 読み取り日付・時刻の情報(日時情報), 訪問者情報3x(識別ID), 訪問者情報3xが読み取られた展示箇所(位置情報)で構成される。各レコードは, 訪問者情報3x(識別ID)ごとに収集されて, 訪問者ごとの移動情報となる。

[0073] 訪問者コンテンツ作成部15は, 移動情報記憶部14と展示物コンテンツ記憶部20とを参照して, 訪問者x専用の訪問者コンテンツを生成する。ここでは, 訪問者コンテンツは, 所定のテンプレートを用いたブログページとして生成される。

[0074] 図5は, 訪問者コンテンツを作成する処理の流れを示す図である。

[0075] 訪問者コンテンツ作成部15は, 訪問者xの移動情報を取得し(ステップS30), 訪問

者コンテンツ管理テーブル155を更新する(ステップS31)。

- [0076] 訪問者コンテンツ作成部15は、移動情報による更新処理によって、図7の訪問者コンテンツ管理テーブル155に、訪問者xの最新の移動情報を反映させる。
- [0077] 図6に、訪問者コンテンツ管理テーブル155の構成例を示す。訪問者コンテンツ管理テーブル155は、移動情報から生成した日時情報、識別ID、位置情報の各項目、さらに、訪問者コンテンツとして作成されたテンプレートのURLまたは保存場所(参照用テンプレートのURLまたは保存場所)、訪問者によって登録されたブログの格納場所(URL)または保存場所(登録済ブログのURLまたは保存場所)が設定される。
- [0078] 訪問者コンテンツ管理テーブル155の位置情報(展示箇所)に対応する参照用テンプレートのURLなどが設定されていない場合は、データが存在しないか、未作成を意味する。また、登録済ブログのURLが設定されていない場合は、データが存在しないか、未公開を意味する。
- [0079] そして、訪問者コンテンツ作成部15は、テンプレートページを作成し(ステップS32)、訪問者コンテンツ管理テーブル155の該当レコードから次の位置情報を取得し(ステップS33)、展示物コンテンツ記憶部20に、取得した位置情報に対応する展示物コンテンツが存在するかをチェックする(ステップS34)。位置情報に対応する展示物コンテンツが存在すれば(ステップS34のYES)、テンプレートページに展示物コンテンツを追加する(ステップS35)。
- [0080] 図7に、展示物コンテンツ記憶部20の構成例を示す。展示物コンテンツ記憶部20には、展示箇所(位置情報)ごとに、その展示箇所に展示された展示物を表示するテンプレート情報の格納場所を示すテンプレート部品情報参照先、展示物に関連する情報の参照場所を示す作品ポータルページ情報参照先が設定されている。
- [0081] ステップS35では、訪問者コンテンツのテンプレートページに、展示物コンテンツとして、展示物のテンプレート部品情報の参照先、作品ポータルページ情報参照先が設定される。
- [0082] 続いて、訪問者xがブログページを公開しているかを調べ(ステップS36のYES)、公開していれば、既に公開されているページから訪問者xが作成したデータをテンプレートページにコピーする(ステップS37)。

- [0083] そして、訪問者コンテンツ管理テーブル155の該当レコードのリストが終わりであれば(ステップS38のNO)、ステップS33の処理へ戻る。リストが終わりであれば(ステップS38のYES)、テンプレートページを保存または表示する(ステップS39)。さらに、訪問者コンテンツ管理テーブル155のページ保存先を更新する(ステップS310)。
- [0084] 図8に、移動情報をもとに訪問者コンテンツの展示物コンテンツの表示を変える場合の例を示す。図8の訪問者コンテンツは、訪問者x(識別ID=12345)のテンプレートページの構成例である。ここでは、例えば、図4の右側に示す訪問者xの移動情報と図7に示す展示物コンテンツ記憶部20の情報から、訪問者xが実際に展示箇所立ち寄って鑑賞した展示物(作品A-1, A-3, A-8など)と、立ち寄らなかった展示物(作品A-2, A-4~7など)とを、表現を変えるようにする。
- [0085] 図9は、訪問者によるページ編集の処理の流れを示す図である。
- [0086] 訪問者xが訪問者情報3xによって、所定のポータルページにアクセスすると(ステップS40)、配信管理部16は、訪問者専用のポータルページを表示する(ステップS50)。
- [0087] さらに、コンテンツ編集部153は、訪問者x用の訪問者コンテンツの編集用ページを表示する(ステップS51)。ここでは、訪問者コンテンツ作成部15によって、訪問者コンテンツ(ブログページ)がリアルタイムで作成処理されるか、または、訪問者コンテンツ管理テーブル155の参照用テンプレートの保存場所を参照して、作成された訪問者コンテンツを取得する。
- [0088] 訪問者xが編集用ページを編集すると(ステップS41)、入力されたデータや設定をもとにページを編集する(ステップS51)。
- [0089] そして、訪問者xがページを保存指定すると(ステップS42)、訪問者コンテンツ作成部15は、訪問者コンテンツをブログページとして作成・保存する(ステップS52)。さらに、訪問者コンテンツ管理テーブル155の参照用テンプレートのURLまたは保存場所を更新する(ステップS53)。
- [0090] さらに、訪問者xがページを公開指定すると(ステップS43)、参照情報作成部151は、訪問者コンテンツ管理テーブル155の位置情報を検索キーとして他の訪問者yの訪問者情報(識別ID, 登録済みのブログのURLまたは保存場所)を抽出する(ス

テップS54)。このとき、訪問者コンテンツ作成・配信装置1が訪問者の個人属性情報を記録する個人属性情報管理テーブルを備える構成の場合には、訪問者の個人属性情報を抽出してもよい。

- [0091] 図10に、訪問者の個人属性情報管理テーブルの例を示す。個人属性情報管理テーブルには、本システムを利用するユーザの識別情報(ユーザID)、メールアドレス、固有のポータルページのURL、属性情報(ユーザ属性)、訪問者情報(識別ID)、訪問者コンテンツ管理テーブル155へのポインタ情報(テーブルへの参照)、ユーザID検出の開始日時および終了日時などが記録される。
- [0092] 訪問者コンテンツを一過性のものではなく、個人のブログとして管理するために、個人属性情報管理テーブルのユーザID、メールアドレスなどの情報を用いることができる。
- [0093] そして、参照情報作成部151は、訪問者コンテンツ管理テーブル155から、他の訪問者yの訪問者コンテンツ(公開用ブログページ)の登録済みブログのURLを取り出し、リンク情報テーブルに登録する。同様に、関連する公開されたページ(ブログページ)全てのURLに登録し、参照情報を反映させる(ステップS55)。さらに、同様に、公開されたページ(公開用ブログページ)と、位置情報に関連付けられた公開ページ(一般のインターネットユーザ向けのポータルページ)との参照情報を作成し、編集可能な全てのページに反映する(ステップS56)。
- [0094] その後、訪問者xの訪問者コンテンツ(公開用ブログページ)を一般公開の設定で保存する(ステップS57)。
- [0095] 具体的には、図11に示すように、訪問者コンテンツ管理テーブル155の訪問者xの位置情報と日時情報の範囲をキーに検索し、ある位置情報(展示箇所(C-4))が記録された他の訪問者yが検索される。
- [0096] そして、図12に示すように、同じ位置情報(展示箇所(C-4))で関連付けられた訪問者xと訪問者yとの訪問者コンテンツは公開ブログページであるので、リンク生成対象となり、図13に示すように、リンク情報テーブルにこれらのブログページのURLが登録される。
- [0097] 他にも、位置情報で示される展示物を、その作者やジャンルなどの情報を付加して

管理する場合に、展示物の作者、ジャンルをキーに、関連する展示物コンテンツを検索し、対応するブログページ同士をリンク付けてもよい。

[0098] 例えば、図14に示すように、展示物(絵画)であって、「ジャンル」と「作者」とによる分類情報が付加されて管理されているとする。「ジャンル＝印象派、かつ、作者＝モネ」で検索された展示物(作品A－8、C－4、D－6)の位置情報に関連する公開ブログページがあれば、その登録済みブログのURLを、訪問者コンテンツ管理テーブル155から取り出し、リンク情報テーブルに登録して、これらのページのリンクを生成する。

[0099] また、図10に示す個人属性情報管理テーブルを備えている場合は、これを利用してリンク生成の対象とするページを抽出する条件を生成してもよい。例えば、「同じ作品を近い日時に鑑賞した同年齢の同性の訪問者」などの抽出条件を生成し、訪問者コンテンツ管理テーブル155を検索し、検索結果をもとに同様にリンクを生成する。

[0100] 個人属性情報を用いてリンク生成を行うことで、嗜好や興味が似た他の訪問者の公開ページとリンクさせることができる。

[0101] なお、参照情報作成部151は、ステップS54の検索結果をもとにCGIで動的にリンク情報を生成してもよいし、または、静的リンクを生成してブログページに保存してもよい。

[0102] 図15に、ページ間のリンク作成の例を示す。訪問者x(ID＝12345)の公開ページ(ブログページ)から、展示物(作品C－4)で他の訪問者の公開ページ(ブログページ)、作品C－4に関連する団体の公式ページ(C－4作品公式ページ)が相互にリンク(トラックバック登録)しているとする。ここで、訪問者y(ID＝54321)のテンプレートを作成する場合に、訪問者yの公開ブログページに、作品C－4の展示物コンテンツが含まれているので、展示物(作品C－4)を介して、訪問者xを含む他の訪問者の公開ブログページ、作品C－4に関連する団体の公式ページ(C－4作品公式ページ)と相互にリンクが生成される。

[0103] なお、実際には、「C－4作品公式ページ」のように外部からのリンクは、公開ページ(ブログページ)が作成された時点で挿入されて有効となる。

[0104] 図16は、訪問者コンテンツ閲覧要求時の処理の流れを示す図である。

- [0105] 訪問者xの個人認証情報が入力される(ステップS60)。配信管理部16は、訪問者xを個人認証し、訪問者xの専用ポータルページへのURLを特定する(ステップS70)。
- [0106] 訪問者xが自分用のページへアクセスすると(ステップS61)、訪問者xのポータルページから、本人用の公開ブログページを表示する。または、検索条件入力ページを表示する(ステップS71)。
- [0107] 図17に、訪問者xの公開ブログページの表示例を示す。訪問者xの公開ブログページでは、登録されたタイトル(ゴンゾーさんの絵日記)が表示される。この公開ブログページでは、訪問者xが鑑賞した展示物と鑑賞していない展示物とを別の表示態様で表示している。また、コメントのリスト、登録されたトラックバック(相互参照情報)のリスト、リンク依頼などの項目が表示されている。
- [0108] さらに、訪問者端末ページ閲覧部4xで次ページ／前ページなどの操作ボタンが選択されると(ステップS62)、訪問者端末ページ閲覧部4xで入力されたデータ、クッキーに保存されたデータ、認証の結果取得した訪問者情報3xをもとに、訪問者xの個人情報を取得し、個人情報の中から検索処理向きの情報を使用して、訪問者コンテンツ管理テーブル155を検索する(ステップS72)。
- [0109] 訪問者コンテンツ管理テーブル155から、検索した公開ブログページのURLを取得し、その公開ブログページを配信して表示すると(ステップS73)、訪問者xは、訪問者端末ページ閲覧部4xで、この公開ブログページを見ることができる(ステップS63)。
- [0110] そして、ステップS62, S63, S72, S73は、閲覧終了が選択されるまで(ステップS64のYES)、繰り返し実行される。
- [0111] 図18は、一般向けの公開ページ(ポータルページ)から、本発明の訪問者コンテンツへのリンク例を示す図である。一般向けのポータルページp1で美術のジャンルが選択できる場合に、このページp1で、「アールヌーボ」が選択されると、リンク情報によって、同ジャンルの美術品を紹介する作品紹介ページp2へリンクされる。そして作品紹介ページp2で、さらに「ガレ ガラス器 県立美術館」が選択されると、リンク情報によって、本システムを利用する美術館のサイト内の作品ページp3へリンクされる。

- [0112] 美術館のサイトの作品ページp3には、本システムで作成された訪問者の公開ブログページp4への参照情報(リンク1)が存在するため、このリンク1が選択されると、訪問者xの訪問者コンテンツ(公開ブログページ)p4へリンクされる。
- [0113] このようにして、一般のインターネットユーザは、本システムにより提供されている訪問者コンテンツを閲覧することができる。
- [0114] なお、訪問者コンテンツ作成・配信装置1では、訪問者の移動情報から、各訪問者の展示箇所への立ち寄り傾向を調べることができる。
- [0115] 図19に、展示物の鑑賞の有無の集計例を示す。図19に示すように、訪問者があるグループの参加者である場合に、訪問者の移動情報から、参加者ごとに、どの展示箇所に立ち寄ったか、すなわちどの作品を鑑賞したかを調べることができる。これにより、展示物の人気などを知ることができる。
- [0116] 以上、本発明をその実施の形態により説明したが、本発明はその主旨の範囲において種々の変形が可能であることは当然である。
- [0117] 例えば、訪問者情報3として、訪問者のメールアドレスを使用し、訪問者コンテンツへのアクセスへ必要な識別ID、アクセス先となる個別URLなどの情報は、訪問者情報として使用されたメールアドレス宛の電子メールによって通知されるようにしてもよい。
- [0118] また、訪問者情報3として、撮影された訪問者の顔などを利用してもよい。この場合に、訪問者の顔の画像を登録して識別IDを割り当てて使用する。この場合に位置情報読み取り装置2は、監視カメラなどの撮影装置として実施され、撮影された訪問者の映像を解析し、登録された顔の画像とマッチングして、割り当てられた識別IDを訪問者情報3とする。
- [0119] なお、本発明の処理は、コンピュータとソフトウェアプログラムとによって実現することができる。そして、そのプログラムは、コンピュータが読み取り可能な可搬媒体メモリ、半導体メモリ、ハードディスクなどの適当な記録媒体に格納することができ、これらの記録媒体に記録して提供され、または、通信インタフェースを介して種々の通信網を利用した送受信により提供される。

産業上の利用可能性

[0120] 以上の説明のように、本発明は、アミューズメントパーク、博物館、美術館、展示会、ツアーサービスなどの展示施設、観光地などの誘客を支援する仕組みとして利用することができる。また、展示物あるいは展示物関連商品への購買を支援する仕組みとして利用することができる。

請求の範囲

- [1] 所定の場所内で各展示箇所に対応付けた展示物を示す展示物コンテンツを記憶する展示物コンテンツ記憶部を備えるコンピュータが実行する処理方法であって、
- 前記展示箇所ごとに配置され、当該展示箇所に立ち寄った訪問者を識別する訪問者情報を読み取る情報読み取り装置から、前記展示箇所および読み取った前記訪問者情報を収集する訪問者情報収集処理ステップと、
- 前記収集された展示箇所および訪問者情報をもとに、前記訪問者ごとに、立ち寄った展示箇所を示す移動情報を生成する移動情報生成処理ステップと、
- 前記展示物コンテンツ記憶部から、前記移動情報の展示箇所に対応付けられた展示物コンテンツを特定し、前記特定した展示物コンテンツが要素として構成される前記訪問者のための訪問者コンテンツを作成するコンテンツ作成処理ステップと、
- 閲覧要求した端末へ、前記訪問者コンテンツを配信するコンテンツ配信処理ステップとを備える
- ことを特徴とするコンテンツ作成・配信処理方法。
- [2] 前記訪問者の入力データを用いて、前記訪問者コンテンツを編集するコンテンツ編集処理ステップを備え、
- 前記コンテンツ作成処理ステップにおいて、前記訪問者が任意に編集できる要素を含む訪問者コンテンツを作成した場合に、前記コンテンツ編集処理ステップでは、前記訪問者コンテンツの当該訪問者が任意に編集できる要素を前記訪問者の入力データにもとづいて編集する
- ことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。
- [3] 前記コンテンツ作成処理ステップにおいて、前記訪問者コンテンツの前記展示物コンテンツに、当該展示物コンテンツに対応する展示箇所が当該訪問者によって立ち寄り済みであることを示す表示を設定する
- ことを特徴とする請求項1または請求項2のいずれか一項に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。
- [4] 前記コンテンツ作成処理ステップにおいて、前記訪問者コンテンツの前記展示物コンテンツと同一または所定の分類における同分類の展示物コンテンツを要素とする

他の訪問者コンテンツがある場合に、当該他の訪問者コンテンツへの参照情報を前記訪問者コンテンツに付加する

ことを特徴とする請求書1～請求項3のいずれか一項に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。

- [5] 前記コンテンツ作成処理ステップにおいて、当該他の訪問者コンテンツとの相互参照情報を前記訪問者コンテンツに付加する

ことを特徴とする請求項4に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。

- [6] 前記コンテンツ配信処理ステップにおいて、前記訪問者コンテンツの閲覧可否の判定条件を設定し、前記閲覧要求の可否の判定結果にもとづいて前記訪問者コンテンツを配信する

ことを特徴とする請求項1～請求項3のいずれか一項に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。

- [7] 前記情報読み取り装置は、前記訪問者情報を読み取った時刻を記録し、

前記訪問者情報収集処理ステップにおいて、前記展示箇所、前記時刻および前記訪問者情報を収集し、

前記移動情報作成処理ステップにおいて、前記展示箇所同士の位置関係を保持しておき、前記展示箇所、前記時刻および前記訪問者情報をもとに、前記訪問者の各展示箇所における滞在時間を算出し、

前記コンテンツ作成処理ステップにおいて、前記訪問者コンテンツを構成する各展示物コンテンツに、対応する展示箇所での前記滞在時間にもとづく所定の表示態様を設定する

ことを特徴とする請求項1～請求項5のいずれか一項に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。

- [8] 前記情報読み取り装置は、前記訪問者情報を読み取った日付を記録し、

前記訪問者情報収集処理ステップにおいて、前記展示箇所、前記日付および前記訪問者情報を収集し、

前記コンテンツ作成処理ステップにおいて、前記訪問者コンテンツを構成する各展示物コンテンツに、対応する展示箇所の立ち寄った日付にもとづく所定の表示態様

を設定する

ことを特徴とする請求項1～請求項5のいずれか一項に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。

- [9] 前記コンテンツ作成処理ステップにおいては、前記展示物コンテンツ記憶部から、前記移動情報の展示箇所によって特定された展示物コンテンツ以外の所定数の展示物コンテンツを抽出し、当該抽出した展示物コンテンツに、対応する展示箇所に訪問者が立ち寄っていないことを示す表示を設定し、前記訪問者コンテンツの要素として追加する

ことを特徴とする請求項1～請求項7のいずれか一項に記載のコンテンツ作成・配信処理方法。

- [10] 所定の場所内で各展示箇所に対応付けた展示物を示す展示物コンテンツを記憶する展示物コンテンツ記憶部と、

前記展示箇所ごとに配置され、当該展示箇所に立ち寄った訪問者を識別する訪問者情報を読み取る情報読み取り装置から、前記展示箇所および読み取った前記訪問者情報を収集する訪問者情報収集部と、

前記収集された展示箇所および訪問者情報をもとに、前記訪問者ごとに、立ち寄った展示箇所を示す移動情報を生成する移動情報生成部と、

前記展示物コンテンツ記憶部から、前記移動情報の展示箇所に対応付けられた展示物コンテンツを特定し、前記特定した展示物コンテンツが要素として構成される前記訪問者のための訪問者コンテンツを作成するコンテンツ作成部と、

閲覧要求した端末へ、前記訪問者コンテンツを配信するコンテンツ配信部とを備える

ことを特徴とするコンテンツ作成・配信処理装置。

- [11] 所定の場所内で各展示箇所に対応付けた展示物を示す展示物コンテンツを記憶する展示物コンテンツ記憶部と、

前記展示箇所ごとに配置され、当該展示箇所に立ち寄った訪問者を識別する訪問者情報を読み取る情報読み取り装置と、

前記各情報読み取り装置から、前記展示箇所および読み取った前記訪問者情報

を収集する訪問者情報収集部と、

前記収集された展示箇所および訪問者情報をもとに、前記訪問者ごとに、立ち寄った展示箇所を示す移動情報を生成する移動情報生成部と、

前記展示物コンテンツ記憶部から、前記移動情報の展示箇所に対応付けられた展示物コンテンツを特定し、前記特定した展示物コンテンツが要素として構成される前記訪問者のための訪問者コンテンツを作成するコンテンツ作成部と、

閲覧要求した端末へ、前記訪問者コンテンツを配信するコンテンツ配信部とを備える

ことを特徴とするコンテンツ作成・配信処理システム。

[12] 所定の場所内で各展示箇所に対応付けた展示物を示す展示物コンテンツを記憶する展示物コンテンツ記憶部を備えるコンピュータに、

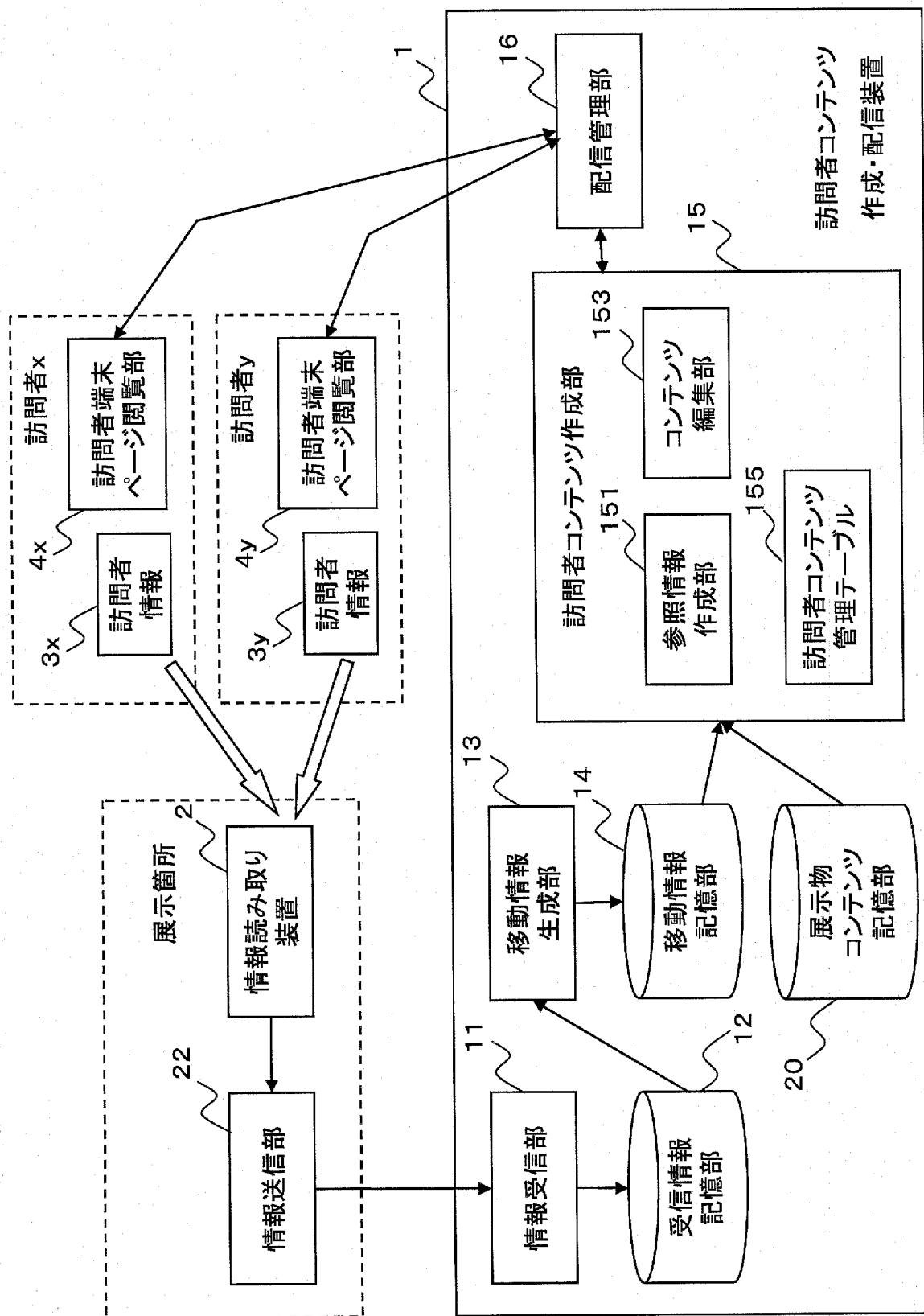
前記展示箇所ごとに配置され、当該展示箇所に立ち寄った訪問者を識別する訪問者情報を読み取る情報読み取り装置から、前記展示箇所および読み取った前記訪問者情報を収集する訪問者情報収集処理と、

前記収集された展示箇所および訪問者情報をもとに、前記訪問者ごとに、立ち寄った展示箇所を示す移動情報を生成する移動情報生成処理と、

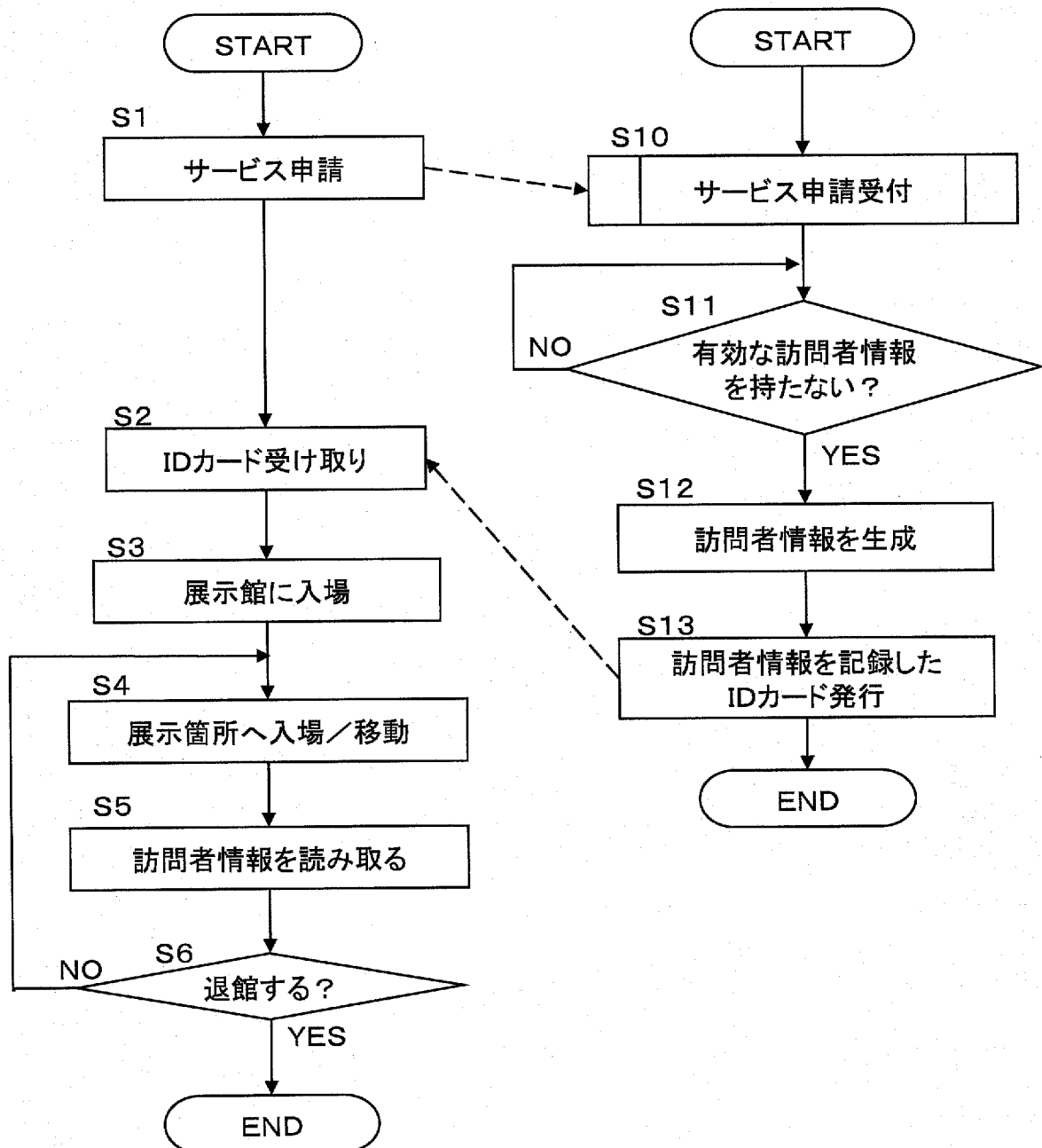
前記展示物コンテンツ記憶部から、前記移動情報の展示箇所に対応付けられた展示物コンテンツを特定し、前記特定した展示物コンテンツが要素として構成される前記訪問者のための訪問者コンテンツを作成するコンテンツ作成処理と、

閲覧要求した端末へ、前記訪問者コンテンツを配信するコンテンツ配信処理とを実行させるためのコンテンツ作成・配信処理プログラム。

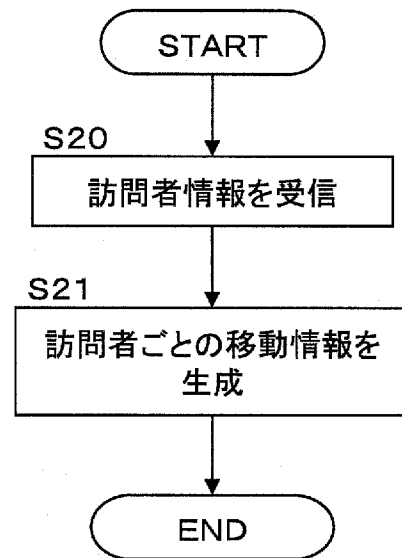
[図1]



[図2]



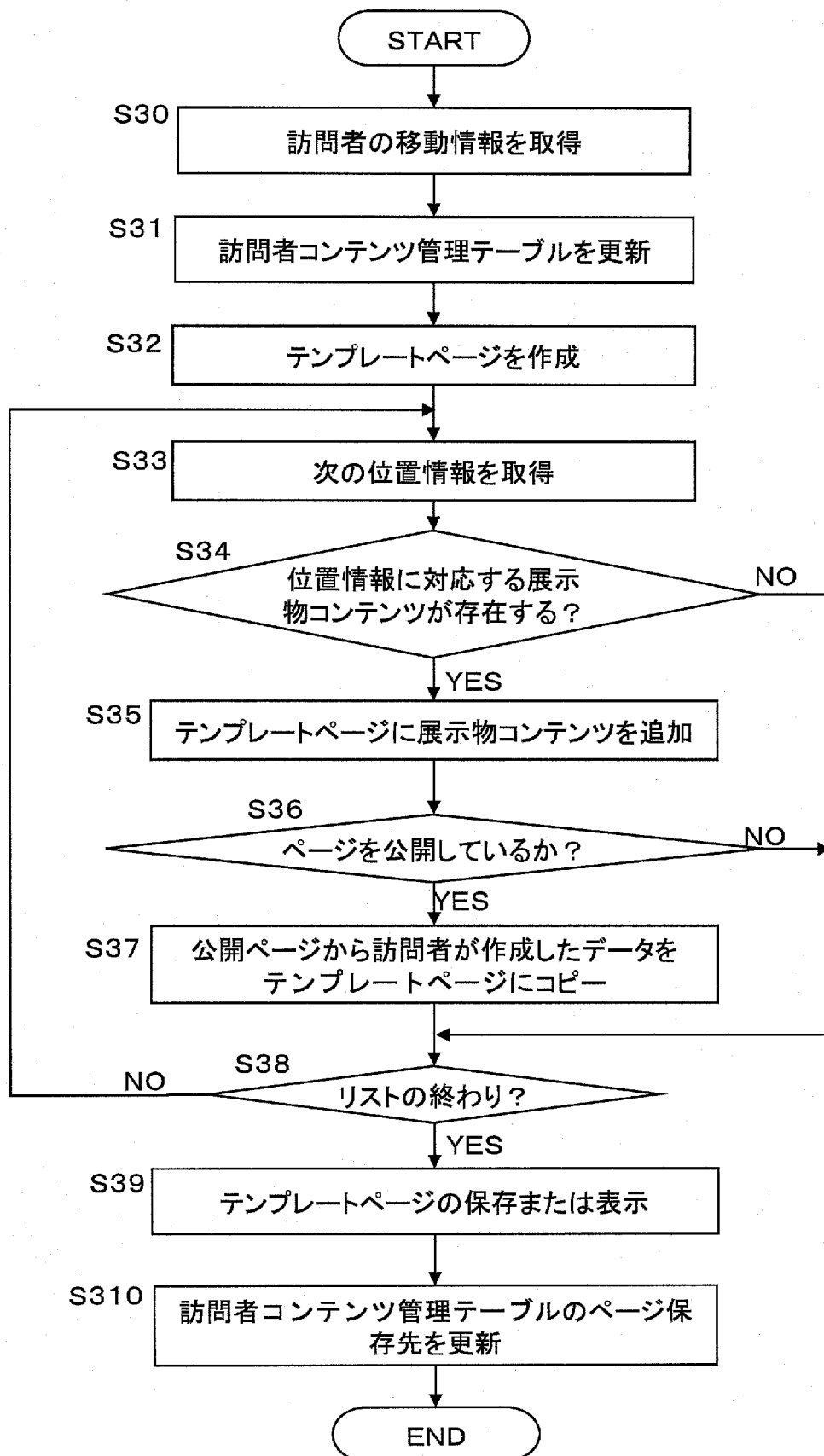
[図3]



[図4]

日時情報	識別ID	位置情報	日時情報	識別ID	位置情報
.	.	.	10月5日 12:12	12345	A-1
.	.	.	10月5日 12:15	12345	A-3
.	.	.	10月5日 13:45	12345	A-8
10月4日 16:45	34567	C-16	10月5日 14:00	12345	A-11
10月5日 12:12	12345	A-1	10月5日 15:38	12345	C-4
10月5日 12:12	54321	C-2			
10月5日 12:13	23456	B-2	10月5日 12:12	54321	C-2
10月5日 12:14	45678	D-4	10月5日 13:40	54321	C-3
10月5日 13:15	12345	A-3	10月5日 14:00	54321	C-4
10月5日 13:15	23456	B-4			
10月5日 13:40	54321	C-3	10月5日 12:13	23456	B-2
10月5日 13:45	12345	A-8	10月5日 13:15	23456	B-4
10月5日 13:46	45678	D-2	10月5日 13:52	23456	B-5
10月5日 13:52	23456	B-5	10月5日 15:13	23456	D-1
10月5日 14:00	12345	A-11	10月5日 15:41	23456	D-3
10月5日 14:00	54321	C-4			
10月5日 15:13	23456	D-1	10月5日 12:14	45678	D-4
10月5日 15:15	45678	D-6	10月5日 13:46	45678	D-2
10月5日 15:38	12345	C-4	10月5日 15:15	45678	D-6
10月5日 15:41	23456	D-3			
10月6日 11:01	34567	A-1			
.					
.					
.					

[図5]



[図6]

日時情報	識別ID	位置情報	参照用テンプレートのURLまたは保存場所	登録済BLOGのURLまたは保存場所
10月5日 12:12	12345	A-1	http://www.fblog.com/id1234/temp001?f=a1	http://www.fblog.com/id1234/page001?f=a1
10月5日 12:15	12345	A-3	http://www.fblog.com/id1234/temp001?f=a3	http://www.fblog.com/id1234/page001?f=a3
10月5日 13:45	12345	A-8	http://www.fblog.com/id1234/temp001?f=a8	http://www.fblog.com/id1234/page001?f=a8
10月5日 14:00	12345	A-11	http://www.fblog.com/id1234/temp001?f=a11	http://www.fblog.com/id1234/page001?f=a11
10月5日 15:38	12345	C-4		
10月5日 12:12	54321	C-2	http://www.fblog.com/id54321/temp003?f=c2	http://www.fblog.com/id54321/page003?f=c2
10月5日 13:40	54321	C-3	http://www.fblog.com/id54321/temp003?f=c3	http://www.fblog.com/id54321/page003?f=c3
10月5日 14:00	54321	C-4	http://www.fblog.com/id54321/temp003?f=c4	http://www.fblog.com/id54321/page003?f=c4
10月5日 12:13	23456	B-2	http://www.fblog.com/id45678/temp006?f=b2	
10月5日 13:15	23456	B-4	http://www.fblog.com/id45678/temp006?f=b4	
10月5日 13:52	23456	B-5	http://www.fblog.com/id45678/temp006?f=b5	
10月5日 15:13	23456	D-1		
10月5日 15:41	23456	D-3		
10月5日 12:14	45678	D-4	http://www.fblog.com/id45678/temp002?f=d4	http://www.fblog.com/id45678/page002?f=d4
10月5日 13:46	45678	D-2	http://www.fblog.com/id45678/temp002?f=d2	http://www.fblog.com/id45678/page002?f=d2
10月5日 15:15	45678	D-6	http://www.fblog.com/id45678/temp002?f=d6	http://www.fblog.com/id45678/page002?f=d6

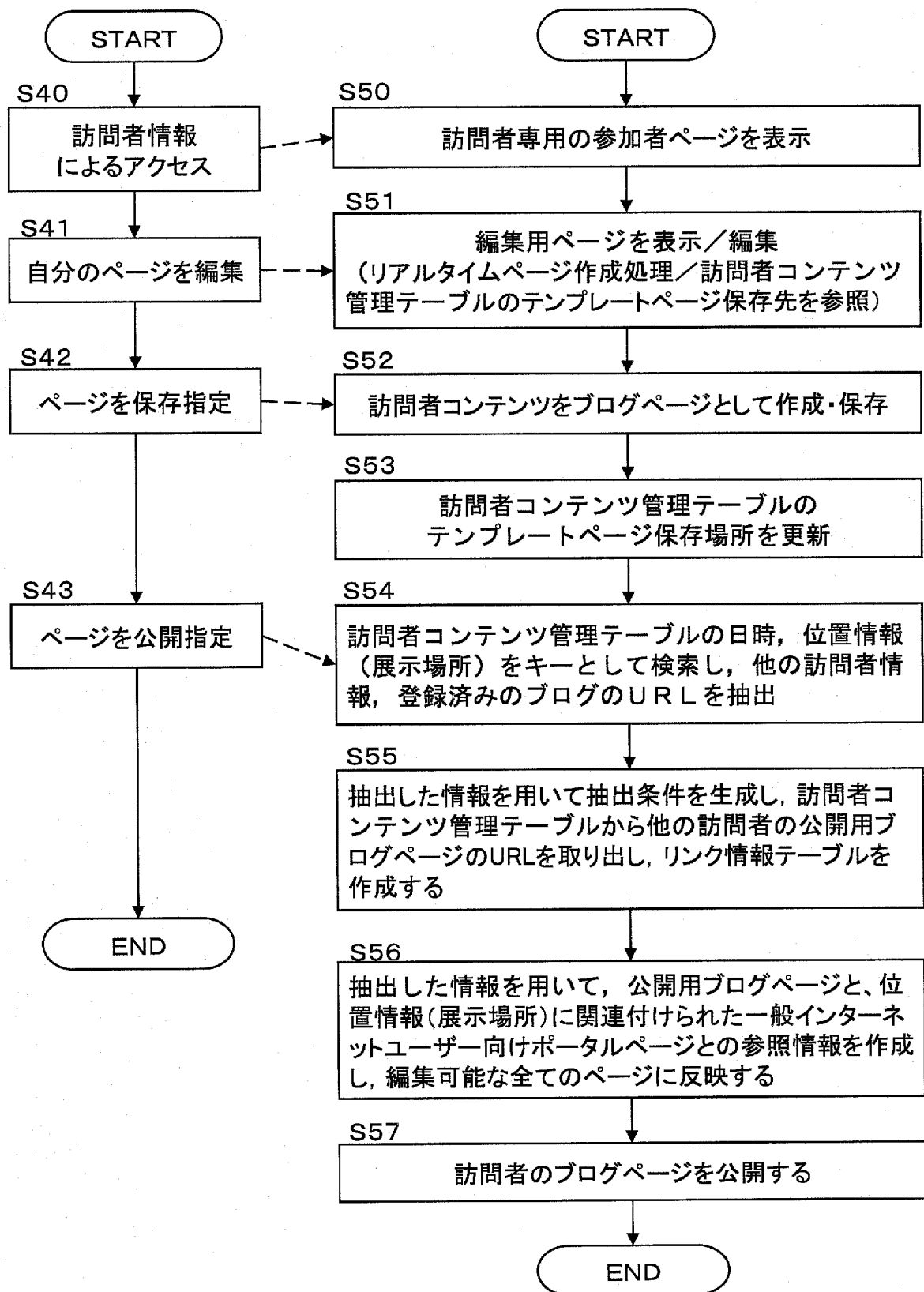
[図7]

位置情報	テンプレート部品情報参照先	作品ポータルページ情報参照先
A-1	A美術館、作品1のテンプレート	A美術館、作品1のポータルページ
A-2	A美術館、作品2のテンプレート	A美術館、作品2のポータルページ
A-3	A美術館、作品3のテンプレート	A美術館、作品3のポータルページ
A-4	A美術館、作品4のテンプレート	A美術館、作品4のポータルページ
A-5	A美術館、作品5のテンプレート	A美術館、作品5のポータルページ
A-6	A美術館、作品6のテンプレート	A美術館、作品6のポータルページ
A-7	A美術館、作品7のテンプレート	A美術館、作品7のポータルページ
A-8	A美術館、作品8のテンプレート	A美術館、作品8のポータルページ
A-9	A美術館、作品9のテンプレート	A美術館、作品9のポータルページ
A-10	A美術館、作品10のテンプレート	A美術館、作品10のポータルページ
A-11	A美術館、作品11のテンプレート	A美術館、作品11のポータルページ
A-12	A美術館、作品12のテンプレート	A美術館、作品12のポータルページ
B-1	B博物館、作品1のテンプレート	B博物館、作品1のポータルページ
B-2	B博物館、作品2のテンプレート	B博物館、作品2のポータルページ
B-3	B博物館、作品3のテンプレート	B博物館、作品3のポータルページ
B-4	B博物館、作品4のテンプレート	B博物館、作品4のポータルページ
B-5	B博物館、作品5のテンプレート	B博物館、作品5のポータルページ
B-6	B博物館、作品6のテンプレート	B博物館、作品6のポータルページ
C-1	C記念館、作品1のテンプレート	C記念館、作品1のポータルページ
C-2	C記念館、作品2のテンプレート	C記念館、作品2のポータルページ
C-3	C記念館、作品3のテンプレート	C記念館、作品3のポータルページ
C-4	C記念館、作品4のテンプレート	C記念館、作品4のポータルページ
C-5	C記念館、作品5のテンプレート	C記念館、作品5のポータルページ
D-1	D展示館、作品1のテンプレート	D展示館、作品1のポータルページ
D-2	D展示館、作品2のテンプレート	D展示館、作品2のポータルページ
D-3	D展示館、作品3のテンプレート	D展示館、作品3のポータルページ
D-4	D展示館、作品4のテンプレート	D展示館、作品4のポータルページ
D-5	D展示館、作品5のテンプレート	D展示館、作品5のポータルページ
D-6	D展示館、作品6のテンプレート	D展示館、作品6のポータルページ

[図8]

ID12345用テンプレート	
	作品A-1を見たという属性でテンプレートの一部を構成
	作品A-2を見なかったという属性でテンプレートの一部を構成
	作品A-3を見たという属性でテンプレートの一部を構成
	作品A-4～7まで見なかったという属性でテンプレートの一部を構成
	作品A-8を見たという属性でテンプレートの一部を構成
	・ ・ ・ ・

[図9]



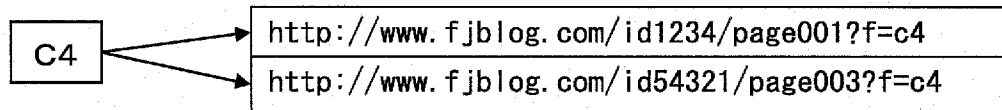
ユーザID	メールアドレス	ユーザ固有の入リロページ	ユーザ属性	識別ID	テーブル2への参照	ID検出開始日時	ID検出終了日時
FJ01234567	shushi.takiyama@jp.fujitsu.com	www.fblog.com/fj01234567/index.htm	男 生年月日 子供独立 住所XXXXX 趣味・嗜好 興味 友人情報	12345 23456 54321 87654 34567	テーブル2のXX番目 テーブル2のXX番目 テーブル2のXX番目 テーブル2のXX番目 テーブル2のXX番目	9月5日 12:12 10月10日 12:15 11月10日 13:45 12月15日 14:00 12月24日 15:38	9月5日 17:12 10月10日 17:17 11月10日 16:55 12月15日 15:00 12月24日 18:30
FJ87654321	aieuo.jp.fujitsu.com	www.fblog.com/fj87654321/index.htm	女 生年月日 独身 住所XXXXX 趣味・嗜好 興味 友人情報	32109 45678 56789	テーブル2のXX番目 テーブル2のXX番目 テーブル2のXX番目	8月21日 12:15 9月24日 14:05 10月10日 12:47	8月23日 19:15 9月25日 20:02 10月11日 16:30
FJ74397592	tanaka.jp.fujitsu.com	www.fblog.com/fj74397592/index.htm		.	.	.	.
FJ95634572	ueda.jp.fujitsu.com	www.fblog.com/fj95634572/index.htm		.	.	.	.
FJ67493235	yamamoto.jp.fujitsu.com	www.fblog.com/fj67493235/index.htm		.	.	.	.
FJ41472657	ito.jp.fujitsu.com	www.fblog.com/f41472657/index.htm		.	.	.	.
FJ31528769	miyamoto.jp.fujitsu.com	www.fblog.com/fj31528769/index.htm		.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.
.	.	.	.	.	.	.	.

[図11]

日時情報	識別ID	位置情報	参照用テンプレートのURLまたは保存場所	登録済BLOGのURL
10月5日 12:12	12345	A-1	http://www.fbblog.com/id1234/temp001?f=a1	http://www.fbblog.com/id1234/page001?f=a1
10月5日 12:15	12345	A-3	http://www.fbblog.com/id1234/temp001?f=a3	http://www.fbblog.com/id1234/page001?f=a3
10月5日 13:45	12345	A-8	http://www.fbblog.com/id1234/temp001?f=a8	http://www.fbblog.com/id1234/page001?f=a8
10月5日 14:00	12345	A-11	http://www.fbblog.com/id1234/temp001?f=a11	http://www.fbblog.com/id1234/page001?f=a11
10月5日 15:38	12345	C-4	http://www.fbblog.com/id1234/temp001?f=c4	http://www.fbblog.com/id1234/page003?f=c4
10月5日 12:12	54321	C-2	http://www.fbblog.com/id54321/temp003?f=c2	http://www.fbblog.com/id54321/page003?f=c2
10月5日 13:40	54321	C-3	http://www.fbblog.com/id54321/temp003?f=c3	http://www.fbblog.com/id54321/page003?f=c3
10月5日 14:00	54321	C-4	http://www.fbblog.com/id54321/temp003?f=c4	http://www.fbblog.com/id54321/page003?f=c4
10月5日 12:13	23456	B-2	http://www.fbblog.com/id45678/temp006?f=b2	
10月5日 13:15	23456	B-4	http://www.fbblog.com/id45678/temp006?f=b4	
10月5日 13:52	23456	B-5	http://www.fbblog.com/id45678/temp006?f=b5	
10月5日 15:13	23456	D-1	http://www.fbblog.com/id45678/temp006?f=d1	
10月5日 15:41	23456	D-3	http://www.fbblog.com/id45678/temp006?f=d3	
10月5日 12:14	45678	D-4	http://www.fbblog.com/id45678/temp002?f=d4	http://www.fbblog.com/id45678/page002?f=d4
10月5日 13:46	45678	D-2	http://www.fbblog.com/id45678/temp002?f=d2	http://www.fbblog.com/id45678/page002?f=d2
10月5日 15:15	45678	D-6	http://www.fbblog.com/id45678/temp002?f=d6	http://www.fbblog.com/id45678/page002?f=d6

C4

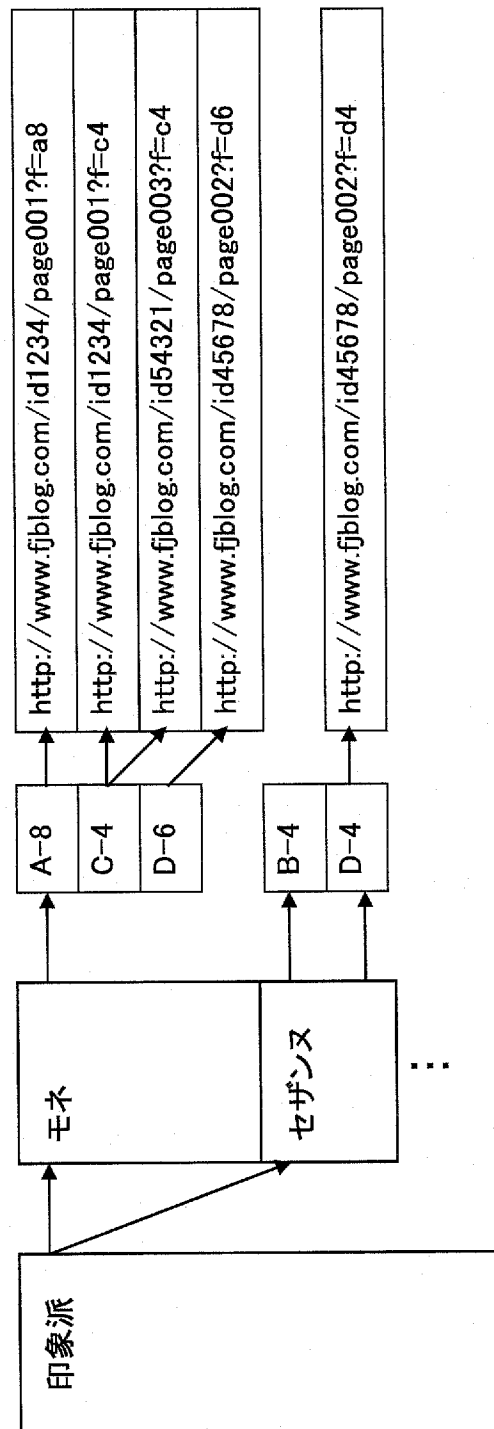
[図12]



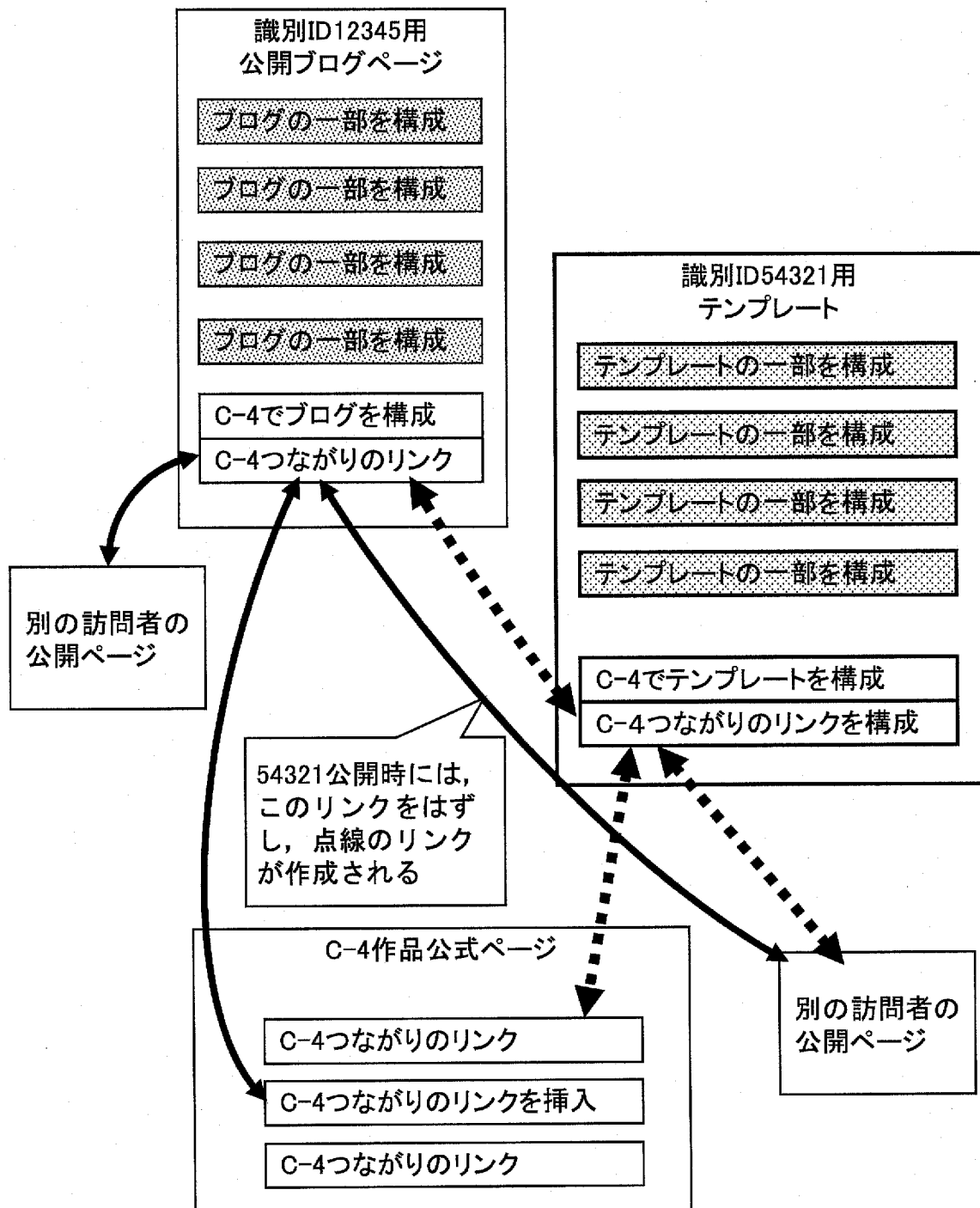
[図13]

No	日時情報	識別ID	位置情報	前のページの登録済BLOGのURL	日時情報	識別ID	位置情報	後のページの登録済BLOGのURL
1	10月5日 15:38	12345	C-4	http://www.fjblog.com/id1234/page001?f=c4	10月5日 14:00	54321	C-4	http://www.fjblog.com/id54321/page003?f=c4
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

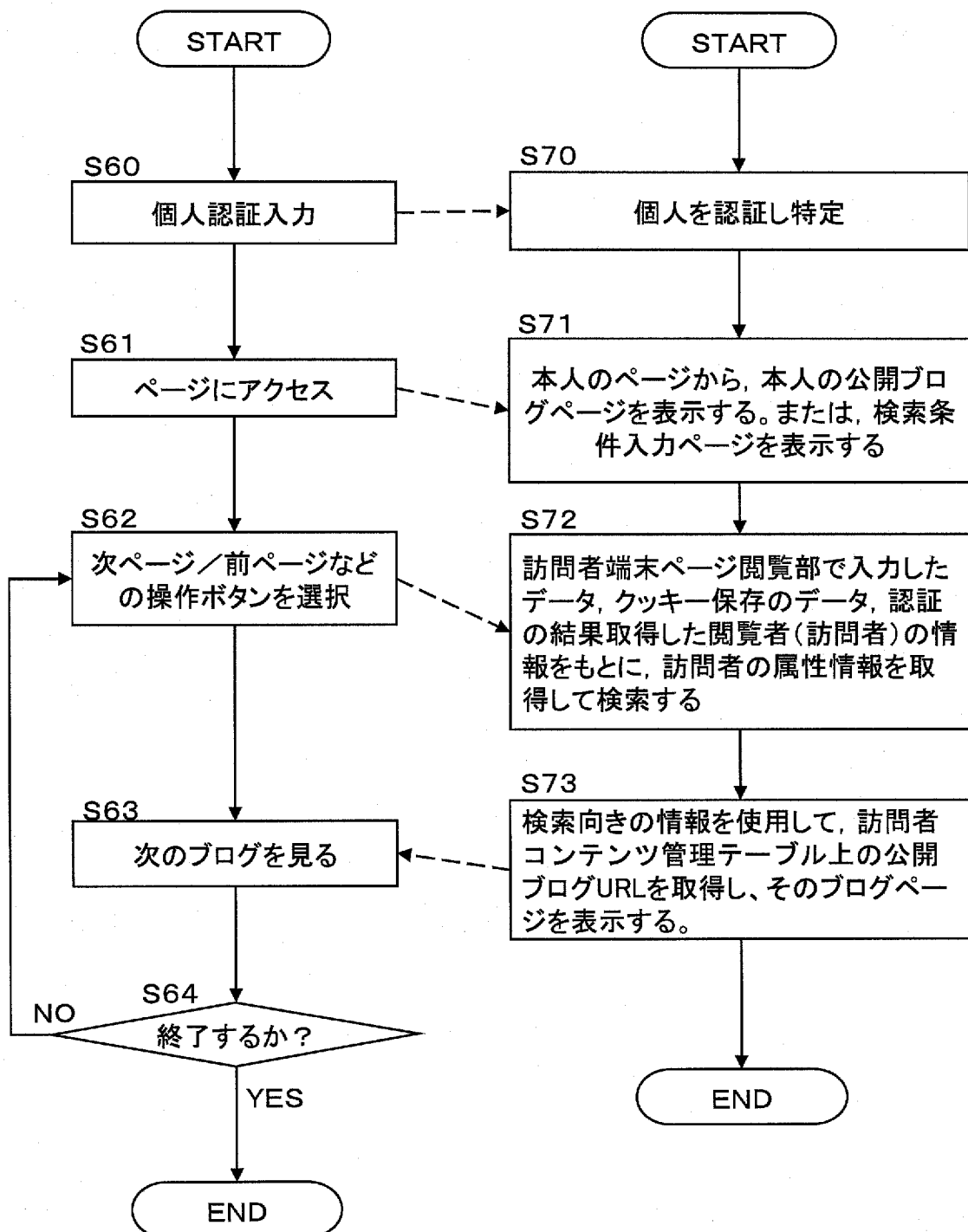
[図14]



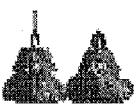
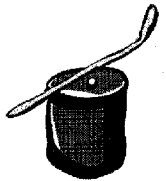
[図15]



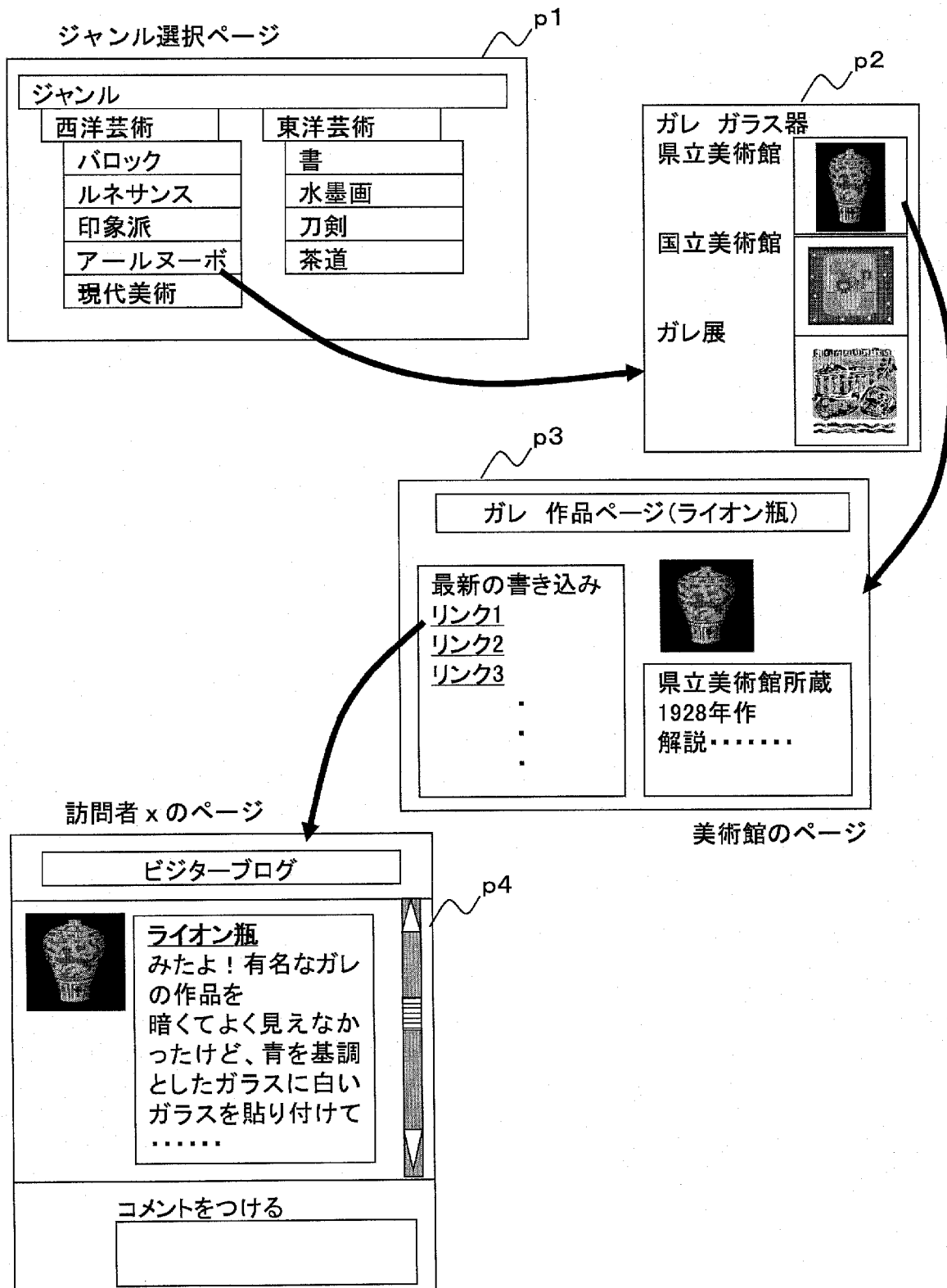
[図16]



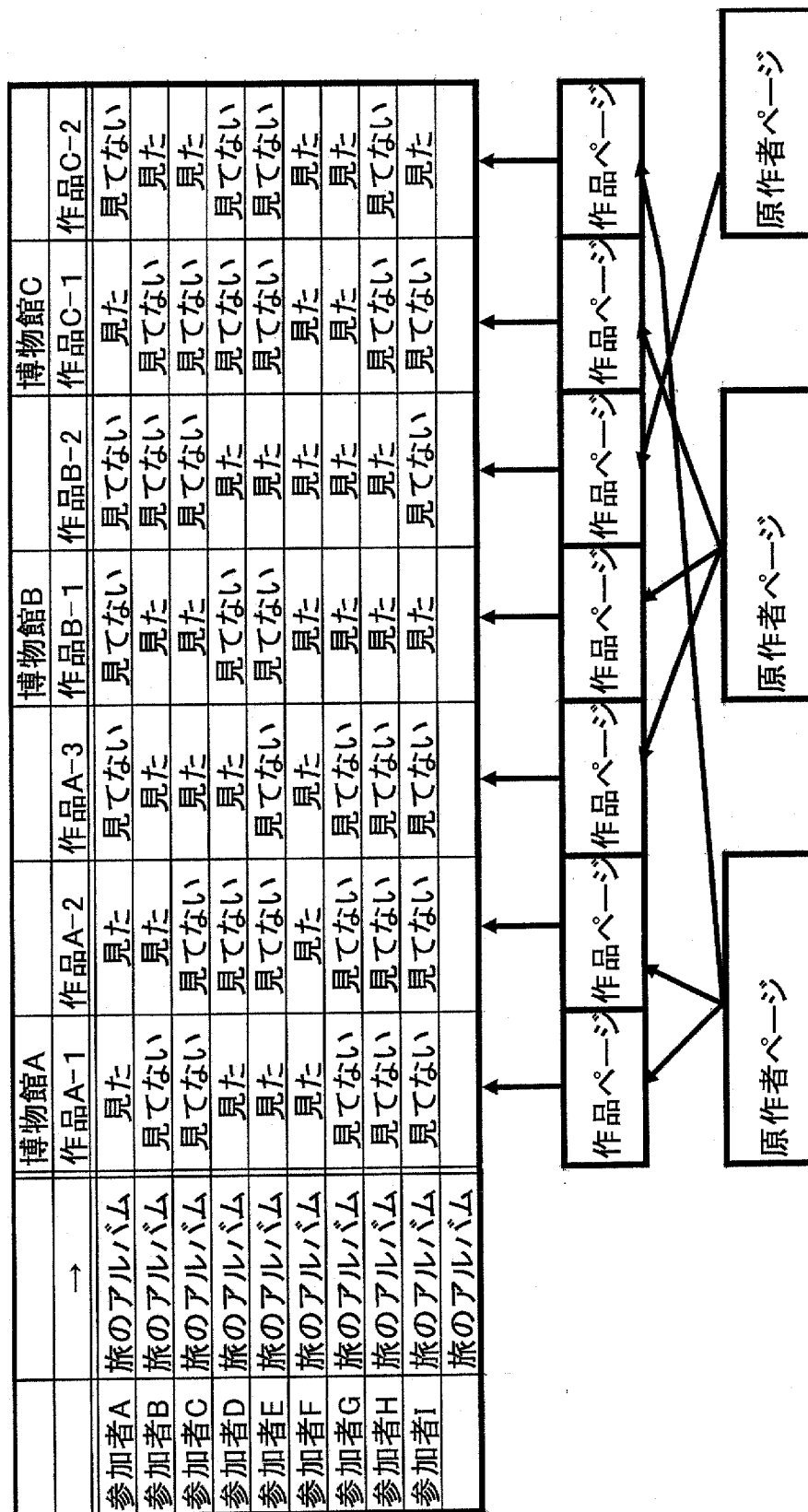
[図17]

ゴンゾーさんの絵日記	
最近の日記 10/10 名古屋城 11/3 徳川美術館 . . .	11 / 3 徳川美術館  雛人形 徳川美術館の雛人形見たよ、でも昔のものはちやちいね。 今の子供のほうがよっぽどいいおもちゃをたくさん持ってるよ。 作品へのリンク ← この作品を見た人へのリンク →
最近のコメント 10/12 城の工事終わった 11/8 新しい展覧会 . . .	 この作品は見えていません 作品へのリンク ← この作品を見た人へのリンク →
最近のトラックバック 10/15 鎧見たよ 11/11 いい茶道具 . .	 茶道具 嫁さんは友達と盛り上がってたけど、俺にはよさがわからん。 こんなものなんの役に立つんだ？ 作品へのリンク ← この作品を見た人へのリンク →
トラックバック依頼 12/15 お願いします	

[図18]



[図19]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2007/058805

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q50/00 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q50/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2007

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2007 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2007

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Yukio OSAWA, "Internet no Chiteki Joho Gijutsu", 1st edition, Tokyo Denki University Press, 2002, 4-501-53490-7, pages 47 to 64	1-12
Y	Yasuyuki SUMI, "Communityware Situated in Real-World Contexts", Transactions of Information Processing Society of Japan, Vol.41, No.10, 2000, pages 2679 to 2688	1-12
Y	JP 2002-342764 A (Kabushiki Kaisha ATR Media Integration & Communications Research Laboratories), 29 November, 2002 (29.11.02), Full text; all drawings (Family: none)	1-12

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
01 June, 2007 (01.06.07)Date of mailing of the international search report
12 June, 2007 (12.06.07)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2007/058805

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2000-172238 A (Kabushiki Kaisha ATR Media Integration & Communications Research Laboratories), 23 June, 2000 (23.06.00), Full text; all drawings (Family: none)	1-12
Y	Rokuro NAKAMACHI, "Kigaru ni Hajimeyo Weblog Life", MdN, Kabushiki Kaisha MDN Corporation, Vol.120, 2004, pages 68 to 77	1-12
A	JP 2004-070598 A (Sony Corp.), 04 March, 2004 (04.03.04), Full text; all drawings & US 2004/0070602 A1	1-12

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q50/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q50/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2007年
日本国実用新案登録公報	1996-2007年
日本国登録実用新案公報	1994-2007年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	大澤幸生，インターネットの知的情報技術，第1版， 東京電機大学出版局，2002，4-501-53490-7，p.47-64	1-12
Y	角康之，実世界コンテキストに埋め込まれたコミュニティウェア， 情報処理学会論文誌，第41巻，第10号，2000，p.2679-2688	1-12
Y	JP 2002-342764 A(株式会社エイ・ティ・アール知能映像通信研究所) 2002.11.29，全文，全図（ファミリーなし）	1-12

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

01.06.2007

国際調査報告の発送日

12.06.2007

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

貝塚 涼

5 L

3 0 4 3

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2000-172238 A(株式会社エイ・ティ・アール知能映像通信研究所) 2000.06.23, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-12
Y	仲町六朗, 気軽に始めようウェブログ・ライフ, M d N, 株式会社エムディエヌコーポレーション, 第120巻, 2004, p. 68-77	1-12
A	JP 2004-070598 A (ソニー株式会社) 2004.03.04, 全文, 全図 & US 2004/0070602 A1	1-12